

## 7月25日(金)に北浦史談会と交歓会

### ことしは雫石が当番、中央公を会場に開催

#### 発表テーマ 「峠を越えた芸能の交流」



写真；国見峠に建つ「従是北東盛岡領」の国境碑。幾星霜、行き交う人々を見守って来た石碑だ。

秋田県旧田沢湖町（現仙北市）の北浦史談会との交歓会を 7 月 25 日(金)に開催します。

恒例のこの行事も今回で 19 回を数えます。毎年雫石町と旧田沢湖町で交互に開催していますが、今年は当会が幹事で雫石町立中央公民館が主会場です。交歓会では毎年両史談会から 1 名ずつ発表者を選び「研究発表」を行います。今年のテーマは「峠を越えた芸能の交流」です。当会では、これまで発表希望者を募ってきましたが、申込み期限までに希望者がなかったため閑敬一副会長を発表者に指名しました。

ご存じのように古くから国見峠越えで交流があった秋田の北浦地方と旧南部の雫石。秋田街道での往来は人馬ばかりでなく経済・文化、そして芸能面でも盛んな交流が行われてきました。

今回の交歓会ではこうした芸能面の交流がいつ頃から、誰によってどのように続いてきたのか両史談会の発表者が語ります。

### 史跡探訪は盛岡市内の原、米内両総理大臣の墓所ほかを訪ねます

研究発表会に先立って、役場のバスを利用して午前中行われる「史跡探訪」は、今回は盛岡市内の旧川原町（現南大通り・明治橋近く）の円光寺や大慈寺、鉾屋町界隈の旧大迫街道（遠野街道）沿いの町家を訪ねます。

円光寺は 17 世紀半ばに開山した浄土宗の寺で第 37 代内閣総理大臣の米内光政（よないみつまさ＝盛岡市出身）の墓所があり、境内には悲話の「生目（いくめ）観音」があります。また、近くの大慈寺（右の写真）は黄檗宗の寺で、ここには平民宰相として知られる第 19 代内閣総理大臣原 敬（はら たかし）の墓所があります。また、近くの大迫街道沿いには情緒溢れる町家が並んでおり、現在盛岡市が周辺整備を急いでいます。今回の史跡探訪では、この町屋をボランティアガイドの案内で回ります。さらに近くの「大慈清水」「青竜水」といった湧水も見られる今回の史跡探訪、どうぞお楽しみにお待ちください。



盛岡の史跡探訪後は、雫石町中央公民館にもどり昼食後、研究成果発表、そして両史談会の会員が一堂に会しての交流会です。昼食、交流会まで含めての参加費は一人 4,000 円を予定しています。詳しいことのお問い合わせは事務局（事務局長赤坂 電話 692-3401）まで。参加者の募集は 7 月に入ってから行います。

6月18日(水)14:00～

## 歴史サロンを開催 ゲストに町教委柴田主任

毎月第三水曜日に開設する「歴史サロン」を、今月は18日午後2時から中央公民館視聴覚室で行います。今回の話題提供者は町教育委員会社会教育課の柴田慈幸主任です。柴田主任は雫石町教育委員会が今年度取り組む「文化財保護、保全」施策について話します。(お話は30分間程度の予定)

### 郷土史教室「西木村戸沢氏の足跡をたどる」も話題に…

柴田主任の話題提供に続いて、6月26日(木)に実施される当会と町教委との共催事業である第1回郷土史教室「西木村に戸沢氏の足跡をたどる」の日程や見学場所の概要について説明して話題に供します。

#### 「闕所(けっしょ)」ってなあに？

さらにこの日は、会員の高橋與右エ門氏から、氏が著した雫石町史通史編「甦る雫石郷の歴史」(25年3月町教委刊)の第IV編「第3節戸沢氏(滴石氏)の存在」の中で述べている「闕所(けっしょ)」とはどういうものか、お話を伺います。

それぞれの話題、どうぞご期待ください。サロンは16:00頃までの予定です。

<“サロン”とは申しながら飲み物は出ません。お茶ご持参でお越しください>

## 参加者募集中!

### 第1回郷土史教室「西木村に戸沢氏の足跡たどる」

今から800年も前、滴石が発祥とされる豪族「戸沢氏」二代目の兼盛が、父以来の領地雫石を後にして羽州山本郡(現在の秋田県仙北郡)に移ったと伝えられます。その行先は今の仙北市西木町(旧西木村)でした。町教委と当会の共催事業である今年度第1回の郷土史教室は、その旧西木村に戸沢氏の歴史と足跡を追いかけます。



◆日時; 6月26日(木) 8:30 役場前出発 ~ 15:30 役場帰着

◆場所; 秋田県仙北市・生保内～玉川ダム宝仙湖～上戸沢・兼盛主従18騎の一人鈴木二郎兵エの後裔とされる方のお話と戸沢城～上桧木内～<紙風船上げや「カンディアッコ上げ」の地を見学>下桧木内～戸沢氏祈祷所の真山寺～約200年間戸沢氏の本拠地であった門屋城跡～三七日山阿弥陀堂>を巡ります。

**全コース役場のマイクロバス利用**

◆参加費; おひとり 2,000円(昼食代等含む)

◆案内人; 前・西木町文化財保護協会会長 沼田 欣治郎 氏



写真上 門屋城跡



玉川ダム宝仙湖から男神山を望む。当日、好天に期待!

今月号の教育広報に募集のお知らせが載っています。この教室への参加申し込みは、一般町民と同様に町教育委員会社会教育課【電話 692-6413】へ電話でお願いします。募集開始は広報が配布される6月12日以降です。ご希望の方はお早めにどうぞ。

8月25日(月)に山形・新庄市で開催

## 「戸沢サミットin新庄」参加を計画

史談会員と町民合わせて35名を予定

当会では、8月25日(月)に山形県新庄市で開催される「戸沢サミットin新庄」に会員多数で参加しようと計画しています。参加者の募集は7月号の町広報と当会会報で同時に行います。また前回同様、戸沢氏ゆかりの雫石八幡宮氏子講中の方々や町内の戸沢集落の方々にも呼びかける予定で前回並みの35名程度の参加を見込んでいます。

旅行日程は8月24日(日)～25日(月)の一泊2日となります。会では、参加者の負担をできるだけ軽くしようと、昨年同様に「雫石町ふるさと文化振興基金」からの補助金として270,000円(前回200,000円)の交付申請を行っているところです。申請通り交付されれば参加者の個人負担額は18,000円程度になる見込みです。



写真は国指定史跡・戸沢家墓所

墓所は国道13号線(羽州街道)沿いの新庄市瑞雲院と桂嶽寺の2ヶ所にあるが、写真の瑞雲院には6棟の廟があり、2代正誠を除く10人の藩主が葬られている。

### 当史談会独自にテーマも設けて現地で研修を実施

主催者である新庄市からまだサミットの具体的な計画案が雫石町当局に示されていないとのことですが、当会としては、メインとなるサミット参加の他に、独自に現地研修テーマを設けて対応する計画です。

まず、サミット会場では――

当会が雫石町から同行した「兼盛と野菊姫」、「従者と侍女」役のスタッフが当時の衣装で登場し、戸沢氏がいかに平和を願っていた一族であったかを物語る3分間程度の舞台演出をする計画です。

また、現地での研修テーマは次の2点を考えています。

- ①新庄市内に現住する「隠明寺(おんみょうじ)」さんと、滴石時代の戸沢氏家臣で、2代目兼盛とともに滴石を後にして羽州に移った時の主従18騎のひとり「隠明寺九郎」(戸沢家譜より)とは何か関わりがあるのか。
  - ❖新庄市内に現住する隠明寺さんは歯科医院を経営しており、新庄特産〔隠明寺凧(たこ)〕の発案者である旧新庄藩士隠明寺勇象の子孫だとのことである。
  - ◆現地研修……できれば、25日に新庄市内で隠明寺家のご当主とお会いしたい。
- ②雫石に伝承される麻織物「亀甲織」と新庄市の伝統織物「亀綾織(かめあやおり)」は良く似た名である。江戸時代に南部の殿様が新庄の殿様から依頼を受けて亀甲織の技術を新庄藩に伝授した、という言い伝えがあるようだが、その真偽のほどは。
  - ↓
  - ◆現地研修……市内の新庄亀綾織伝承協会で見学する。

上記いずれも新庄ふるさと歴史センターのご協力を仰ぐこととします。

新庄サミットへの正式な参加者募集は7月に改めて行いますが、みなさまどうぞ、今のうちからご参加をご計画ください。

## 今年度の盛岡藩・八戸藩藩境塚探索調査

# 須賀倉山頂の東下で塚の痕跡を確認

江戸時代の絵図面や史料などから 81 番塚 (盛岡藩) と推定

6月2日(月)、当会と志和公民館の関係者が参加して、紫波町と雫石町の境界線上にあるとされる旧盛岡藩と八戸藩の藩境塚を探索する実地調査を行い、戸沢川ルートでの調査で藩境塚の痕跡らしい土盛り(右写真)を確認しました。この日参加したのは当会から大村昭東、関敬一、吉田勇 会員の3人、紫波町からは志和公民館の北條館長ら4名の計7名、そして地元雫石町の案内人4人でした。



藩境塚らしい痕跡を見つけたのは、西安庭の戸沢川林道の最上流部から尾根を3時間かけて登った所で、須賀倉山(標高940.9m)の山頂から200mほど東側の稜線上(両町の境)でした。塚は稜線上の野分け道を通すにあたって壊されたものと思われ、現在の道(幅50cm程)の両側に高さ60cmほどの土盛りが左右対称に2カ所残っていて、東側の隅に人工的に角石(30cm角)が数個置かれていました。塚の本来の大きさは南北3.0m、東西5.0mの方形と推定しました。藩境塚は盛岡藩が方形の塚、八戸藩が円形の塚をそれぞれ交互に築造していることから、この塚は盛岡藩の築造のものだと判断しました。

確認されたこの塚は雫石町歴史民俗資料館所蔵の文久三(1863)年の年号が入った安庭、繫村両村の絵図面に見える「八壺(81)番塚・盛岡藩」と思われますが、確定するには今後なお精査が必要です。調査状況と結果について会員の皆さんに追って報告いたします。

### 町の歴史民俗資料館所蔵の絵図面が役立つ

これまで活用して来た志和方面の絵図面は縮尺が大きくて位置関係の詳細がわかりにくく、図面に書き込まれた例) < 81番・盛岡藩 (次の塚までの距離) 280間・西は鱒沢、北は戸沢、東は形内須 > と言った表記だけが手掛かりでした。しかし今回参考にした当町資料館所蔵の絵図面は、村の区域ごとに描かれており、周辺の山や沢との位置関係がわかりやすく、81番塚の確認に大変役立ちました。また、図面下には当時の両村の肝入や老名(おとな)の屋号と名前が入っています。(ただ、南畑村の絵図部分に塚の記載がなく残念でした。)

この絵図面はこれまで特に公開していないとのことですが、非常に貴重な資料であると言えます。資料館にはこれに類する貴重な絵図面等の資料がまだまだあるとのことですので、史料としてのさらなる調査と整備を期待します。

### 会員消息

☆ 25年度で退会された会員		◆ 総会後に入会された会員	
和川 サナ さん	中町一	米澤 邦夫 さん	駅前
小塚 典子 さん	中町一	浅沼 和子 さん	駅前
長坂 ハツエ さん	下町三	大谷地 正美 さん	中南
3名の皆さん長い間ありがとうございました。どうぞお元気で。		大谷地 ミツ さん	〃

**あとがき** 田植えも終わり農家はホッと一息。梅雨空に深緑が一段と濃く見える良い季節となりました。冷夏の予想もありますがそんなことのないように祈ります。これから8月にかけて当会は大きな行事が目白押し。今号はそんなお知らせが満載です。どうぞ積極的なご参加を。(S)